

箱根ラリック美術館 特別企画  
「大森暁生展 -René Laliqueへのオマージュ-」

彫刻家 大森暁生。ラリックを敬愛する彼は、「誰も見たことのないものを生み出し世に放つとき、創り手は勇気がいるものだ。ラリック作品を目の前にすると、いつも心がザワザワと音を立て、一步踏み出す勇気を与えてくれる。」と語ります。ラリック自身も、「それまでに誰も目にしたことのない作品を、一人でも多くの人に手にしてほしい」との想いを込め、制作に励みました。

時代を隔てながらも、志を同じくする二人の作品が、今、箱根ラリック美術館で出会います。今回は、大森の業績をたどる彫刻作品に加え、ラリックに捧げた新作も発表します。



大森暁生プロフィール

1971年 東京生まれ  
1996年 愛知県立芸術大学美術学部彫刻専攻卒業  
1995年～2002年 彫刻家 藪内佐斗司氏のアシスタントを務める

木彫および木彫原型によるブロンズ作品を中心として、国内外のギャラリー、百貨店、アートフェア、美術館等での展示、多くのアパレルとのコラボレーションなど幅広く作品を発表。

フォトエッセイ+作品集『Please do disturb』(芸術新聞社)、大森暁生作品集『月痕 つきあと』(マリア書房)を刊行。

- 期 間 3月17日(月)～5月11日(日)
- 会 場 箱根ラリック美術館  
(常設展示室1階・ミュージアムショップ)
- 出 展 作 品 大森暁生作  
「月夜のレターオープナー -Arowana-」2013年 他  
ルネ・ラリック作  
花器「蛇」1924年  
花器「茨」1921年
- ※期間中、大森暁生最新作の先行特別販売もあります。



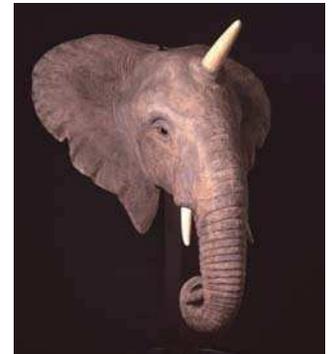
大森暁生作  
彫像「天使のトルソ」2007年  
ルネ・ラリック作  
花器「茨」1921年



大森暁生作  
彫像「デビルのトルソ」2007年  
ルネ・ラリック作  
花器「茨」1921年



大森暁生作「月夜のレターオープナー -Arowana-」2013年  
©AKIO OHMORI Photo:KATSURA ENDO



大森暁生作 彫像  
「ぬけない棘のエレファント」2002年  
©AKIO OHMORI Photo:KATSURA ENDO



展示の様子



LALIQUE MUSEUM, HAKONE



## 施設概要

施設名称	箱根ラリック美術館 (LALIQUE MUSEUM, HAKONE)
所在地	〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1 TEL : 0460-84-2255 FAX : 0460-84-2271 URL : www.lalique-museum.com
開館日	2005年3月19日 (土)
営業時間	午前9時～午後5時 (入館は午後4時半まで)
営業日	年中無休 (展示替のため臨時休館あり)
美術館入館料	大人 1,500円 高校生、大学生、シニア (65歳以上) 1,300円 小学生、中学生 800円 ※レストラン、ショップ、庭園の入場は無料です ※2014年4月以降も入館料の変更はありません
施設内容	敷地総面積 13,004.50㎡ 美術館棟 2,601.30㎡ ミュージアム・ゲート 70.78㎡ 特別展示 オリент急行サロンカー カフェレストラン・LYS 1,083.45㎡ 店内100席 テラス100席 ショップ・パッサージュ 827.93㎡ 1階90坪 2階30坪 庭園 (池、小川、蝶の森)
専用駐車場	第一駐車場 (100台) 1日300円 第二駐車場 (100台) 無料
アクセス	電車・バスをご利用の場合 ■箱根登山鉄道「箱根湯本駅」より、箱根登山バス「湖尻・桃源台」行きにて約30分 「仙石案内所前」下車すぐ ■小田急箱根高速バス「新宿駅」より約120分「箱根仙石案内所」下車すぐ ■箱根施設めぐりバス「箱根ラリック美術館」下車すぐ ■小田急箱根高速バス羽田線「羽田空港」より「横浜駅東口バスターミナル (そごう横浜店)」 「御殿場駅」経由約150～165分 「箱根仙石案内所」下車すぐ 車をご利用の場合 ■東名御殿場I.C.より乙女峠経由、仙石原まで約20分
設計・施工	鹿島建設株式会社、株式会社丹青社
事業主	株式会社ル・ミューゼハタ
本社所在地	東京都中央区銀座4丁目4番5号
代表者	代表取締役 旗 功泰

本件及び取材等に関するお問い合わせ先 箱根ラリック美術館PR担当:株式会社小田急エージェンシー tel:03-3344-5988  
貴誌(紙)・貴番組にて掲載いただく際の読者からのお問い合わせ先 箱根ラリック美術館 tel:0460-84-2255



LALIQUE MUSEUM, HAKONE